

修復文化財関係銘文集成

平成四年度

〈凡例〉

- ・本集成は、平成四年度に、京都国立博物館文化財保存修理所において文化財の修復時に確認された銘文等（納入品を含む）を納めたものである。
- ・配列は、それぞれの銘文の年代順とした。
- ・銘文の解説は担当者側の判断によったが、なお参照資料として、図版・挿図をできるだけ多く入れた。
- ・改行は原文どおりを原則としたが、一部は「」により改行を示したものがあつた。なお漢字は新字体に統一し、異体字は原則として通行の字体に直した。
- ・法量の単位はセンチメートルである。
- ・各銘文の末尾に、①西暦年 ②修理施工者 ③参考文献 ④所在地 ⑤備考を付した。
- ・銘文の解説、釈文の作成は、国指定分については文化庁文化財保護部美術工芸課が、それ以外は文化財保存修理管理指導室がそれぞれ担当した。
- ・本集成は、担当者が修理所で行った銘文の調査に基づく。その際、各工房から写真等の資料の提供を受け、図版および挿図として使用した。

目次

彫刻

- 1 十一面観音立像 建長^四□年 徳島 能満寺
- 2 千手観音立像(五一五、五二号) □^三永三年(五一九号) 京都 妙法院
- 3 弥勒菩薩及諸尊像 永仁六年 山形 本山慈恩寺
- 4 随神倚像 元亨三年 愛媛 大山祇神社
- 5 釈迦三尊像 貞治元年(中尊)・延宝七年(両脇侍) 愛知 実相寺
- 6 大日如来坐像 享祿三年・貞享二年・天保九年 滋賀 八田組大日堂

彫刻

1 十一面観音立像 北島町指定文化財

一 軀
德島 能満寺
木造 像高 一六九・六

〔髻部底面墨書〕

建長 子四月

①建長四年（一二五二） ②（財）美術院 ④徳島県板野郡北島町中村
⑤修理銘。二行目以下は削取られ判読不能。

2 千手観音立像（五一五、五二一）（図1） 重要文化財 七 軀

京都 妙法院
木造漆箔 像高一七四・八、一八二・〇

〔五一五号・左足柄前面墨書〕

六 円

〔同・右足柄底面墨書〕

御室御分 院承作

〔同・台座中棧裏面墨書〕

八 弁 円

〔同右〕

弁 円 八

〔台座中棧側面墨書〕

一 御 まくの

〔台座框裏面墨書〕

一 御 まくの

〔五一六号・左足柄前面墨書〕

聖護院

〔同・右足柄背面墨書〕

法 （眼之）
□ □

〔同・台座中棧裏面刻銘〕

五永

〔同・台座蛤座裏面墨書〕

西（花押）

〔五一七号・左足柄前面墨書〕

六祐

〔同・右足柄前面墨書〕

佑

〔同・台座中棧裏面墨書〕

六定 □

〔同右〕

六定祐

〔五一八号・左足柄前面刻銘〕

大二

〔同右・墨書〕

二

〔同・左足柄外側墨書〕

（災之）
□ 檢了

景親（花押）

長快（花押）

〔同・右足柄正面刻銘〕

大二 二

〔同・台座中棧裏面墨書〕

祐尊一

〔同・光背裏面刻銘〕

大

〔五一九号・右足柄外側墨書〕

降円法印作

□ 永三年

（月之）
□ □ 廿 □ □ （四日之）

（災之）
□ 檢畢

（花押）

〔同・台座中棧裏面墨書〕

大七十一

〔五二〇号・左足柄前面刻銘〕
法印湛慶

〔同・右足柄前面墨書〕
大七十八

〔同・台座中棧裏面墨書〕
大七十八

〔同右〕
〔花押〕 四弁

〔同・台座中棧裏面戯画〕
〔墨書及び刻線で花木を各一箇表す〕

〔五二一号・左足柄外側墨書〕
〔判読不能〕
〔花押〕

〔同・台座蓮肉上面墨書〕
大□

〔同・台座反花裏面墨書〕
西〔花押〕

①文永三年（一二二六） ②（財）美術院 ③『蓮華主院
本堂千躰千手観音像
修理報告書』（妙法院、昭和三三年） ④京都市東山区大和大路通渋谷下
ル妙法院前側町 ⑤符丁、数字のみの銘文については省略した。

3 弥勒菩薩及諸尊像（図2） 重要文化財

五軀

山形 本山慈恩寺

各木造素地 像高 弥勒菩薩 九八・一

釈迦如来 五一・七

地藏菩薩 五〇・九

不動明王 九四・七

降三世明王 一〇二・四

〔弥勒菩薩・像内背部墨書〕

同七月□廿五日 始之

永仁六年 戊 九月十日 戊

慈恩寺本仏 於如法堂

造立

仏子侍従法橋

寛慶

〔同・像内胸部墨書〕

（梵字八字）

(梵字八字)

(梵字一字)

(梵字三字)

(梵字四字)

筆師覺照阿闍梨

像内納入品

弥勒菩薩像分

一、宝篋印陀羅尼經・般若心經・諸尊陀羅尼等

永仁六年九月十二日書写奥書

一卷

縦一三・六 全長三九二・〇 全十二紙 楮紙

〔宝篋印陀羅尼經その一・奥書墨書〕

永仁六年^{戊戌}九月十二日^右書写志趣者過去幽儀出離生死^カ往生淨土^カ
也乃至法界平等利益矣

二、宝篋印陀羅尼經・般若心經

永仁六年九月十二日書写奥書

一卷

縦一六・四 全長二九九・五 全六紙 楮紙

〔奥書墨書〕

(梵字二行・漢字真言四行)

南無大慈大悲弥勒菩薩南無大慈大悲弥勒菩薩永仁六年^{大歲}戊戌九月

十二日午時書写畢^{執筆道}
^{生年三十九}右意趣者現当二世悉地成就乃至法界
平等利益故也

三、般若理趣經・宝篋印陀羅尼經・般若心經

一卷

永仁六年九月十七日靜慶書写奥書

縦一二・七 全長三九一・五 全十五紙 楮紙

〔般若理趣經・奥書墨書〕

我等所修三昧善 廻向最上大悉地^カ哀愍授受願海中 消除業障
証三昧^三天衆神祇增威光 国内神等離業道^カ弘法大師増法樂 貴
賤靈等成佛道^三聖朝安隱増宝寿 天下安樂興正法^三護持法主除不
詳 滅罪生善成御願^三菩提行願不退転 別導三有及法專同一性
故入^ア(梵字)字南無当来導師弥勒如来現当二世悉地成就心中
所願決定^三圓滿矣大法主靜慶

〔般若心經・奥書墨書〕

千時永仁六年^{歲次}九月十七日^右於南閭浮提大日本国出羽国 鳥羽
皇帝御願慈恩寺安養院^三禪坊辰時書写墨^三右經王書写意趣者為過
去幽靈四恩七世乃至一切亡者出離生死往生極樂矣兼又現在親
母部類眷属并法主靜慶大法師現世安隱壽命長遠福智圓滿息災
与樂現当二世悉地成就殊天長地久御願圓滿寺中安隱弘法興隆
乃至法界平等利益故也書写意趣如件^三右筆願主靜慶大法師生年
二十六才

四、宝篋印陀羅尼經

二卷

内一卷永仁六年九月十七日慶弁書写奥書

その一 縦一五・三 全長二五三・五 全六紙 楮紙

その二 縦一二・八 全長二八一・五 全十一紙 楮紙

〔その一・奥書墨書〕

願□者為過去□□□生死往生極樂淨品□增□
□□乃至□利益□年十月四日敬□

〔その二・奥書墨書〕

南無当来道乃師弥勒慈尊 南無釈迦牟尼仏 永仁六年戊戌九月
辰時筆之了 右志趣者慶弁之身中所願結定成就結定円満兼又増
長福寿別寺中安隱興隆仏法現 安隱後生善所乃至法界平等利
益一奉立願事慶弁西囀沙汰為給物千部仁王經奉誦誦可者也
仍立願狀如件 永仁六年九月十七日慶弁敬白

五、宝篋印陀羅尼經・諸尊陀羅尼等 包紙添

一卷

永仁六年九月廿三日蓮阿書写奥書

縦一三・二 全長四〇二・〇 全十三紙（包紙共）楮紙

〔奥書墨書〕

永仁六年九月廿三日 右志者為師長父母祖父母門同法一家一
頭兼又法界衆生現世安隱後生善所也別ハ大法師金剛仏子蓮阿
房中安隱弟分寿命長息故也願以此功德普及於一切我等与衆生
皆共成仏道

〔包紙端裏墨書〕

永仁六年九月廿三日奉慈恩寺本仏御身入宝篋印陀羅尼經一卷
金剛佛子蓮阿石

六、宝篋印陀羅尼經・般若心經・諸尊陀羅尼等

一卷

永仁六年十月書写奥書

縦一七・九 全長三八五・五 全十二紙 楮紙

〔奥書墨書〕

願以此功德 不及於一切我等与衆生 皆供成仏道 永仁六年 太歳
十月□日 戊戌
（九と書いた後十と直す）
（十と書いた後一と直したか）

七、宝篋印陀羅尼經・般若心經・諸尊陀羅尼等

一卷

縦一四・三 全長四〇六・五 全十二紙 楮紙

八、經卷断簡等

その一（固着により開卷不能）

縦一四・五

その二（般若心經断簡）

全長（現状）八一・〇

（この他、經卷等の小断片がある）

九、弥勒菩薩印仏等

その一

縦二八・三 全長八三・〇 全四紙

一体一版の弥勒菩薩坐像を一行に三体、一紙に六行を墨で押印す
る。各印の右上に「百文中原氏女」の如く捨錢額と奉加者名を墨書
する。

妙蓮、願性などの結縁者名がある。

その二 二十四枚

各縦二七・二八・二八・〇 横三一・三三・三五・〇 楮紙

(現状、その一と合わせ仮卷子装、縦二八・五 第一紙幅三二・五)

その一と同じ弥勒菩薩像を一行三体、各紙六行または七行を墨で押印する(第二十三枚目は一行二体)。その多くは各印右上方に捨銭額と奉加者名を墨書する。結縁者のうち主要なものを記す。

道円、円智、妙心、妙空、覚円房、空性、妙阿、西願、光信比
丘尼、道玄、信慶、光泉、善戒、法蓮、慈阿、戒仏、唯性、禪
智、沙弥興実、唯念、西仏、勧仏、善性、覚智、蓮阿、善阿、
願教、信阿ミタ仏、観阿ミタ仏、見阿、観勝、祢阿、奥秀、鏡
念佛、禪心、性禪、経禪父母祖父母

二十四枚目の裏に次の願文がある。

若以也見我 以音声求我

是□□邪道 不能見如来

玄融

その三(印仏断片) 二十三片と小片一括

性阿、妙海房、妙心、如願、西念、教明房、妙泉房、土用房、西仏
等の名がある。

(その他、包紙と思われるものが二紙ある)

地藏菩薩分

一、弥勒菩薩印仏

四枚

その一 一枚

縦 二九・七 横 三三・八 楮紙

一鉢一版の弥勒菩薩坐像を縦一列に三鉢、一紙に六列を墨で押印する。各印仏の右側に「十文とよ八郎母」の如く捨銭額と奉加者名を墨書する。成仏、円智房、西念、半太、□道などの結縁者の名がある。

その二 三枚 一枚目 縦二八・〇 横三五・八 二枚目 縦三〇・一 横三七・九 三枚目 縦三〇・一 横三六・七 各楮紙

印仏は二枚目が七列あるほかは、その一に準ずる。三枚目を除き、各印仏の右側に捨銭額と奉加者名を墨書する。上半欠失部多し。主な結縁者名、端裏書等は以下の通り。

一枚目

僧実覚、頼実、正経、源□、僧定□、僧良秀

(端裏) ちそうほさつ

(奥) 願主 静音房 玄融(花押) 行者行全

二枚目

道西、円信、元憲、頼憲、為家、為宗、定光、定弁、吉清、光高

三枚目

捨銭金は記されない。下段の三鉢の印仏の右上に願主(花押)静音房玄融(花押)と記す。

二、願文 一通

縦二八・二 横二六・七 楮紙

(願文墨書)

玄融(花押)僧道善□□祖父祖母建父建母金□□語禪門 恒
阿弥陀仏□□道法房道妙所志□□母 円智御房山(二
字墨消)如房□□千手王丸 亡夫聖靈□□前 万歳女

千萬億劫難値 解如来第一義 尚応捨何況

非法 求我是人行道不能 幻泡影如露亦如電 應作如

是觀 六日 願主靜音房玄融

(印仏その一と、印仏その二及び願文はそれぞれ筒状に巻かれ、像内に納入されていた。)

不動明王像分

一、弥勒菩薩印仏

二枚

一枚目 縦三〇・〇(現状) 横三四・一

二枚目 縦三〇・〇(現状) 横三三・九 各楮紙

地藏菩薩像の印仏その一に準ずる。印の右上に捨銭額と結縁者名を墨書するものが多い。過失欠失。

一枚目

裏面に願文(無上□我今得□…)を記す。

二枚目

上段二番目の印仏右脇に「永仁六年□十二月□三日」と記し、奥に玄融(花押)とある。他は、一枚目に準ずる。

降三世明王像分

一、弥勒菩薩印仏

二枚

一枚目 縦三〇・〇 横三四・四

二枚目 縦三〇・〇 横三三・九 各楮紙

印仏は地藏菩薩像の印仏その一に準ずる。

一枚目

印仏の右に行願、妙空、心願、良阿等の名と捨銭額を墨書するものが多く、さらに末列に願文(若以色見我以音声求我 是人行邪道不能見如来あたなふし 重宗(花押))を記す。なお、裏面奥に墨書があるが、判断困難。

二枚目

表は三列目の印仏の右に「唵烏倫尼 娑婆訶」と記すほかは、印仏のみ。印仏は一枚目に準ずる。裏面に願文(無上甚深微妙法 百千萬億劫難値我今見聞得受持 願解如来第一義若以色見我以音声求我 是人行邪道 不能見如来一切有為法 如夢幼泡影如露亦如電 應作如是觀玄融(花押))を記す。

①永仁六年(二二九八) ②(財)美術院・(株)宇佐美松鶴堂 ③『山形県文化財調査報告書(第二十四集) 本山慈恩寺の仏像』(山形県教育委員会、昭和五十八年) ④山形県寒河江市大字慈恩寺三一

4 随神倚像(図3)

一 軀

愛媛 大山祇神社

木造彩色 像高一三〇・〇

〔体幹部第二層中央材前面墨書〕

守門神御鉢南方天

木作始元亨三年五月三日

奉立同八月廿一日

大願主越智盛房并女大施主

大仏師美作法橋宗盛

①元亨三年（一二三三） ②（財）美術院 ④愛媛県越智郡大三島町宮浦 ⑤本像を含め、立像二軀と倚像二軀の計四軀で一具をなす。その内、元亨二年（一二三三）の造立銘を有する立像一軀については『学叢』第十三号に、無年紀の墨書及び永祿十二年（一五六九）の修理銘札を有する立像一軀については同第十四号に掲載。

5 釈迦三尊像（図4）愛知県指定文化財

	三軀
愛知 実相寺	
各木造漆箔・彩色	釈迦如来 一〇五・七
	文殊菩薩 六一・六
	普賢菩薩 六一・一

釈迦如来像

像内納入品

一、仏眼真言等・比丘一元願文・結縁交名

一通
縦一六・四 横四八・〇 楮紙

〔比丘一元願文墨書〕

娑婆世界南閻浮提大日本国三川州

須美保山園村生縁同州吉良莊西条

瑞境名山実相禅寺三住如意寺住持比丘

一元号太山俗氏伴行生年五十四歳

法臘四十二山春受戒寂光禅院

寄居東雲軒太歳壬寅定治

改元冬十月 日（朱文鼎印「太山」・朱文方印「左眼」）

二、仏眼真言等・結縁交名・釈迦三尊等名号

一通
縦一六・四 横四八・二 楮紙

〔奥書墨書〕

定治改元壬寅十月初五日比丘一元記（朱文鼎印「太山」、朱文方印「右眼」）

三、仏眼真言・源朝臣満貞願文

二通
その一 縦一六・二 横五九・六
その二 縦一六・四 横五九・二 各全二紙 楮紙

〔各願文墨書〕

右書

仏眼真言奉納

釈迦如来慈眼憑茲

善利専祈源朝臣満貞

身宮康健命運亨通

寿等延長福祿弥遠
歸仰三宝欽崇諸天
神力護持佛慈加被
改凶為吉轉禍為祥
海内平安天下泰定

子孫昌盛眷属又寧
所願円成所求円満
所有誠悃不能周宣
聖心必通咸資感格
太歲壬寅定治元年
十月二十八日源朝臣満貞敬白

四、光明真言等・摺仏地藏菩薩・沙弥仙宣願文

縦一六・〇 横一二・九 全四紙 楮紙

一通

〔願文墨書〕

右旨趣者為天長地久御願円満

別子孫繁昌身宮康泰得果

菩提所書写如件

貞治元年十月廿八日 沙弥仙宣
白敬

五、摺仏宝篋印塔等・光明真言・阿弥陀仏名号

縦一六・二 横四七・九 楮紙

一通

〔奥書墨書〕

貞治元年十月廿八日 妙志う

文殊菩薩像

〔像内後頭部墨書〕

京都三条大仏師左近

..... (矧目)

春房

普賢菩薩像

〔像内面部墨書〕

京都之住人

藤原氏

後三再興

斎藤左近

丹山和尚代

(玉眼)

大仏師 春房

〔院〕

法橋浄慶 (花押)

子

〔同、後頭部墨書〕

延宝七年

末小春十九日

三再興

(梵字一字)(真言三行)

現住比丘丹山叟瑞鳳

現住比丘丹山叟瑞鳳

藤原氏

(梵字一字)(漢字真言四行) 斎藤

願再興 延宝七年末十月

①貞治元年(一一三六)、延宝七年(一一七九) ②(財)美術院 ④愛知県西尾市上町下屋敷一五 ⑤釈迦如来像内納入文書は、小さく折疊んで一束とし、造像時の玉眼押さえとする。右に掲げた六通のほか、結縁者名や名号等を記す紙片十枚、白紙紙片二枚からなる。こ

れら当初の玉眼押さえ紙は、今回の修理に於て別途保存することになった。像内銘文の内、普賢菩薩面部裏の「院□」は造像当初か。その他は、修理銘。

6 大日如来坐像 滋賀県指定文化財

一 軀
滋賀 八田組大日堂
木造素地 像高一五七・八

〔台座心棒受棧墨書〕

江州甲賀伊家多常福寺本尊大日如来□
尊像修覆于時 享祿三_{庚寅}年八月十四日
住持比丘就宅叟

_{（印）}
相那重秀

〔台座心棒墨書〕

□ 寺本尊大日如来再興享祿三年庚寅八月十四日誌之住侍尼^(ママ)
丘就宅

自是先者二百年及者也 粗那伊家多廣田重秀

「福生山常福寺

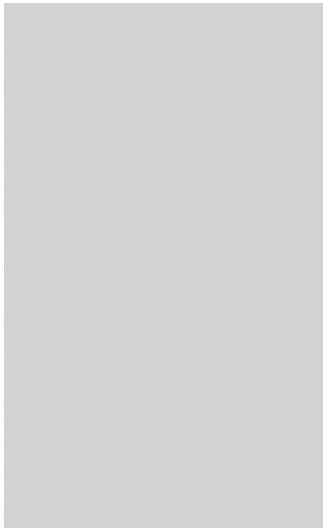
京都高倉松原上ル

本尊大日如来再興天保九^戊年十二月十一日為八田組中安全敬
再拝者也 望月定之進長好作者」

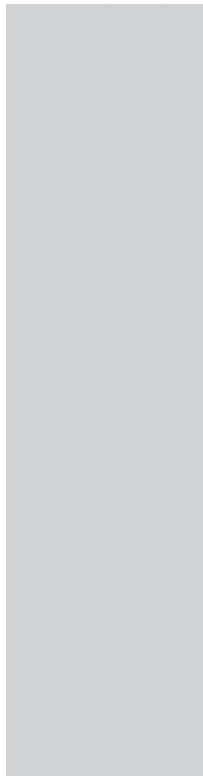
寺本尊大日如来再興貞享二年乙丑八月廿八日 粗那 伊家田氏嫡子
重道敬誌之

念養沙門宗庵

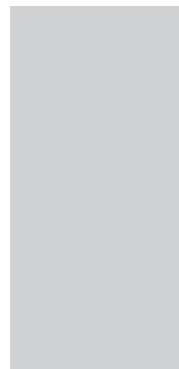
①享祿三年（一五三〇）・貞享二年（一六八五）・天保九年（一八三八）②
（財）美術院 ④滋賀県甲賀郡甲南町池田 ⑤心棒受棧墨書は享祿の
修理銘。心棒墨書は貞享、天保の各修理銘。天保の修理銘（「内」）は、
新たに削取った面に記す。



(台座中棧・框裏面)



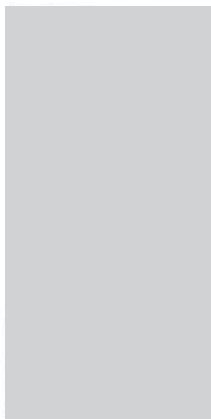
(右足柄底面)



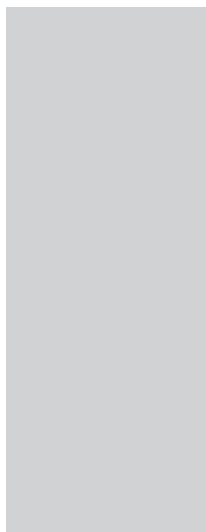
(左足柄前面)



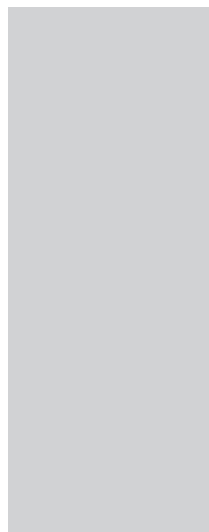
515号



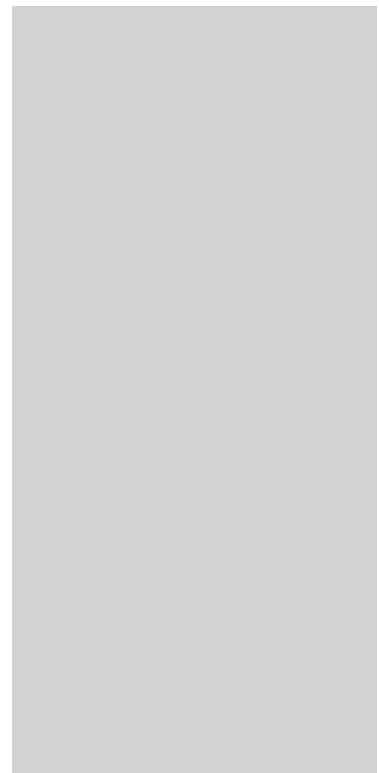
(台座蛤座裏面)



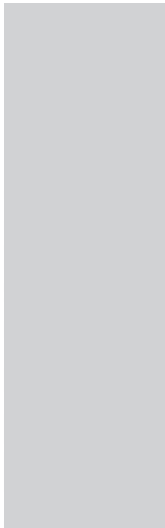
(右足柄背面)



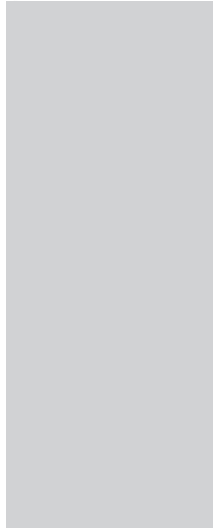
(左足柄正面)



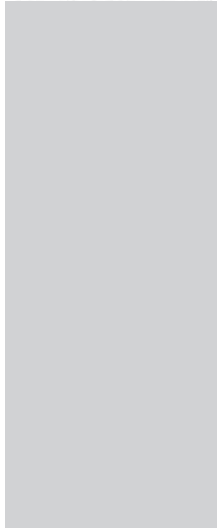
516号



(台座中棧裏面)



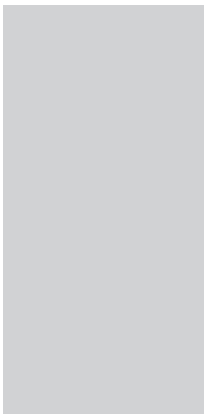
(右足柄前面)



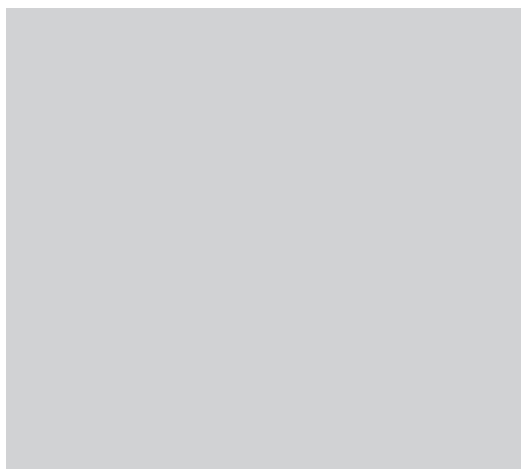
(左足柄前面)



517号



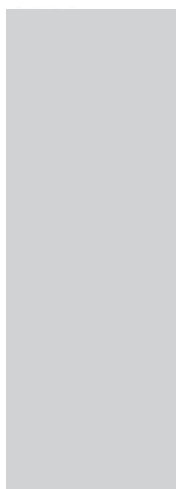
(台座中棧裏面)



(左足柄外側)



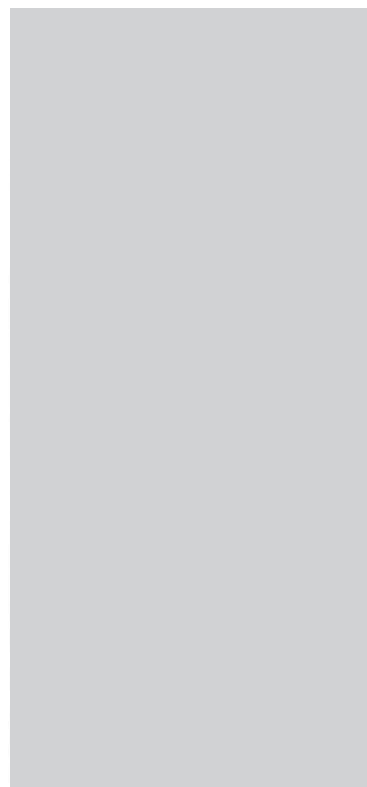
518号



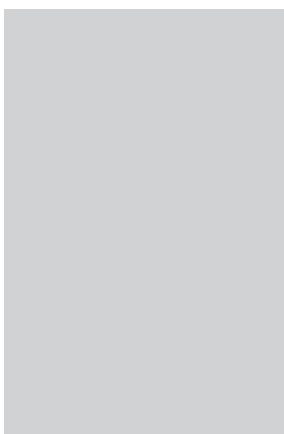
(台座中棧裏面)



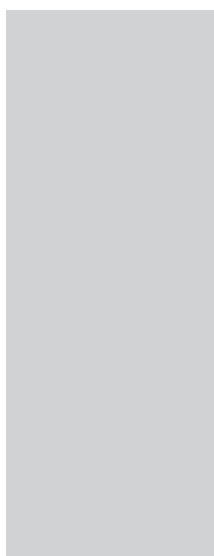
(右足柄外側)



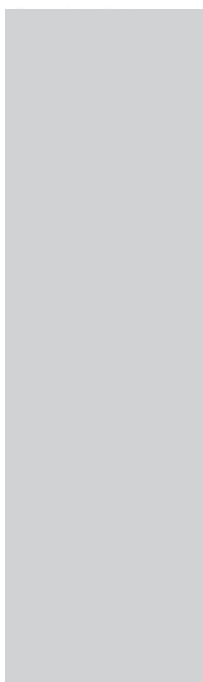
519号



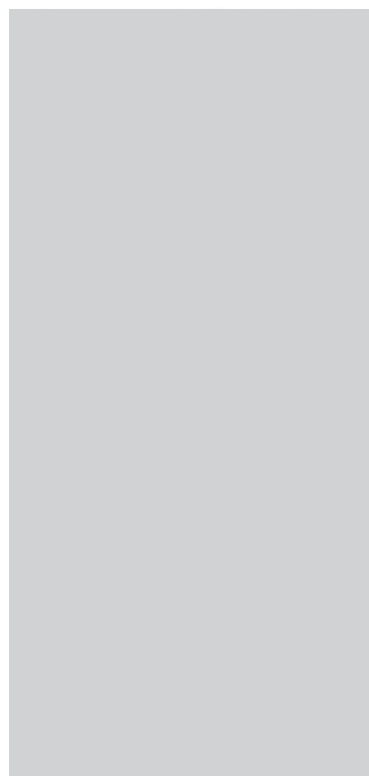
(台座中棧裏面)



(右足柄前面)

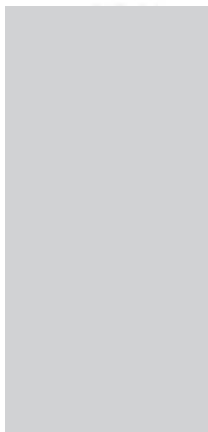


(左足柄前面)

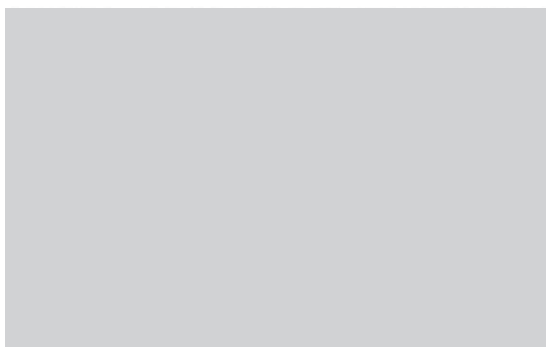


520号

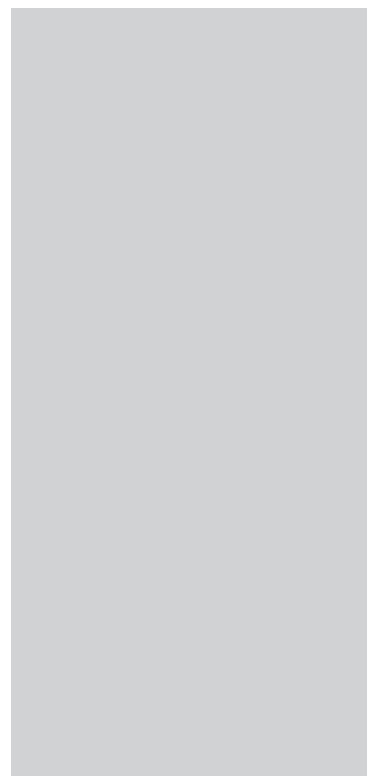
1 千手観音立像 妙法院



(台座反花裏面)

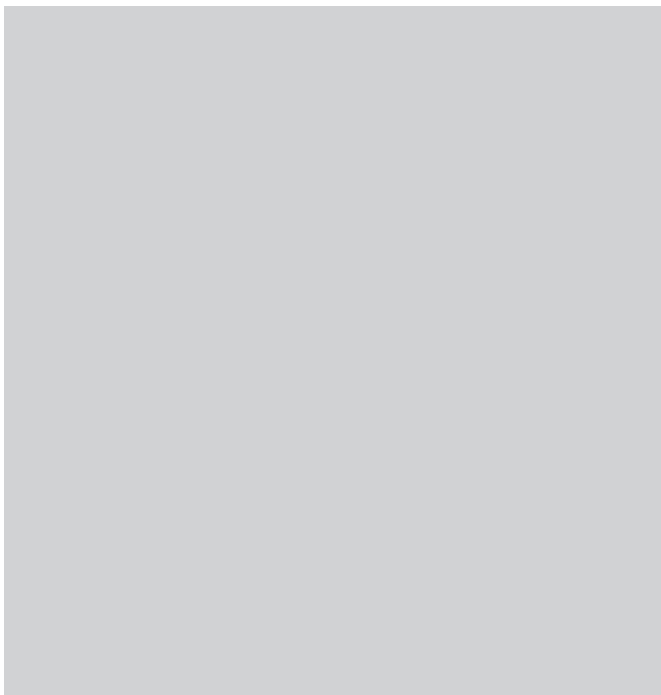


(左足柄外側)

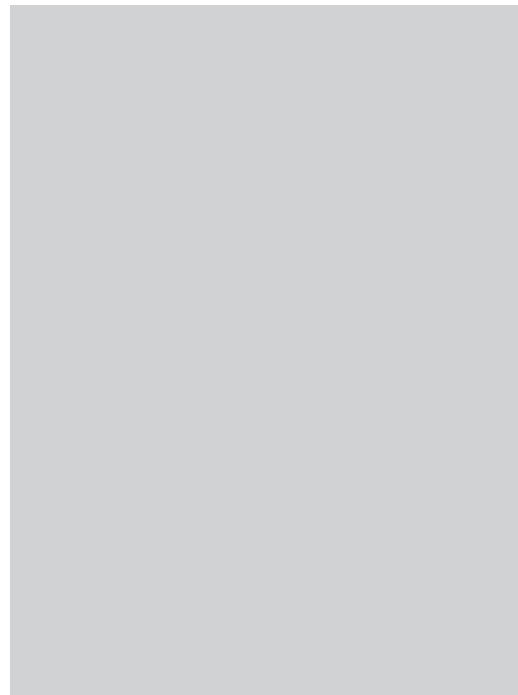


521号

1 千手觀音立像 妙法院



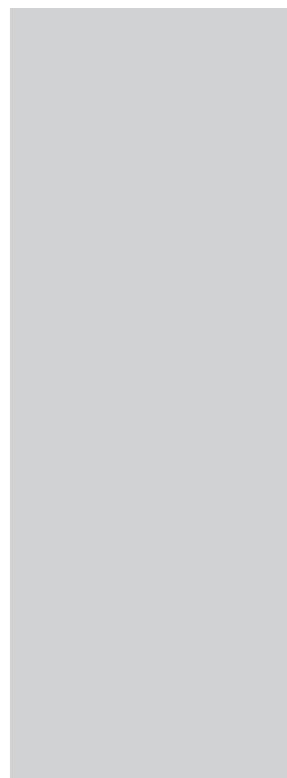
(弥勒菩薩像内胸部)



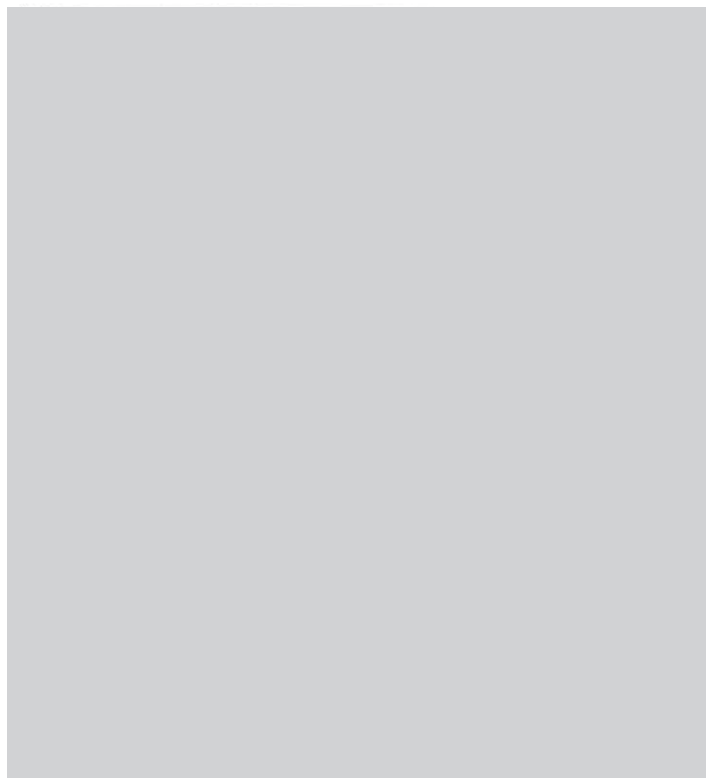
(弥勒菩薩像内背部)

2 弥勒菩薩及諸尊像 本山慈恩寺

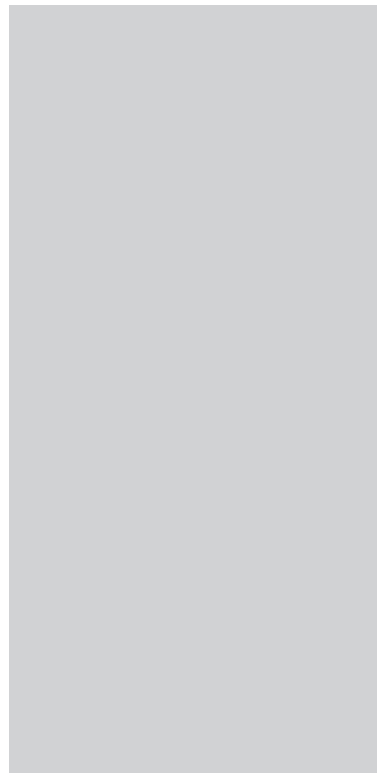
(弥勒菩薩像内納入品一・宝篋印陀羅尼經その一・奥書)



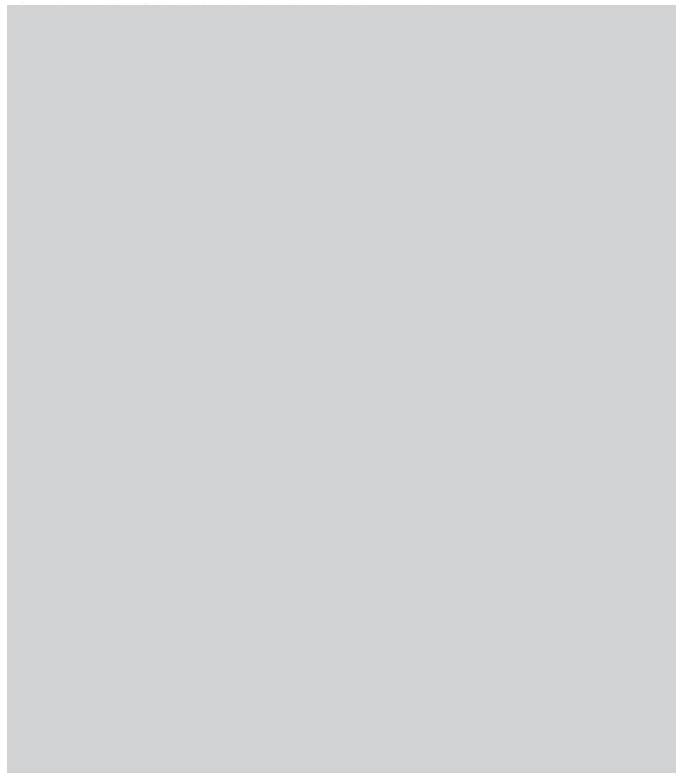
(同二・奥書)



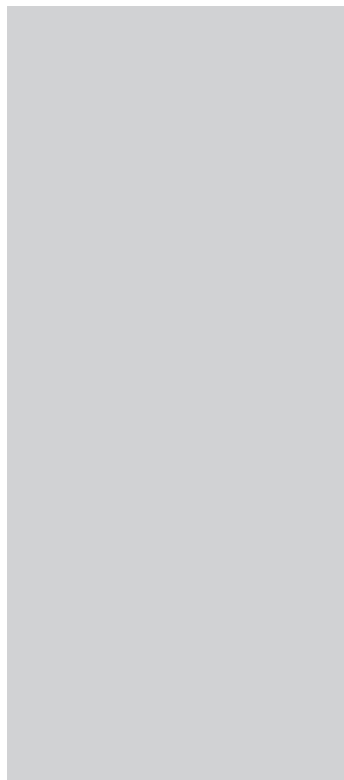
(同三・般若理趣經・奥書)



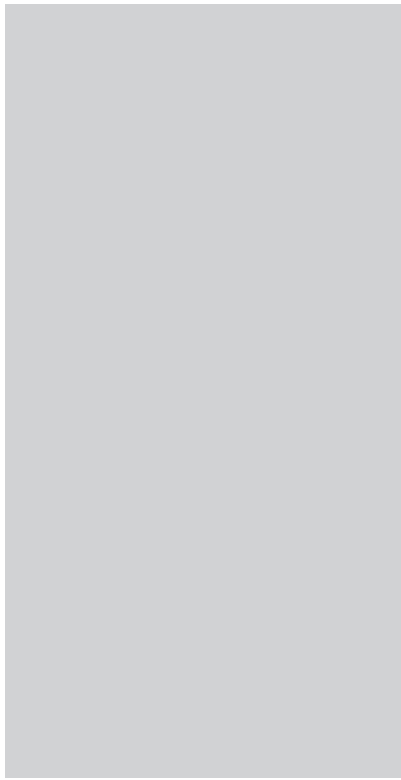
(同三・般若心經・奥書)



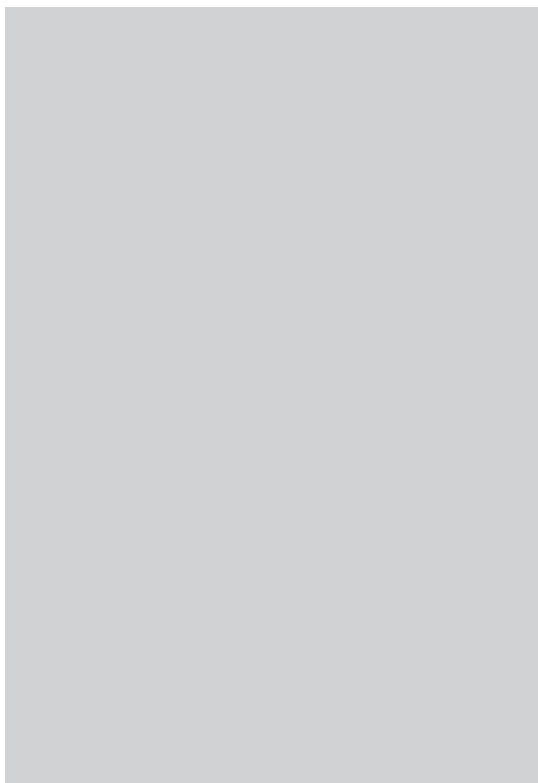
(同四・その一・奥書)



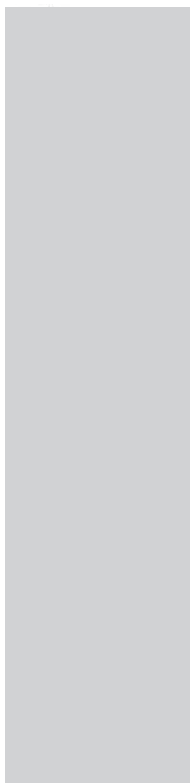
(同四・その二・奥書)



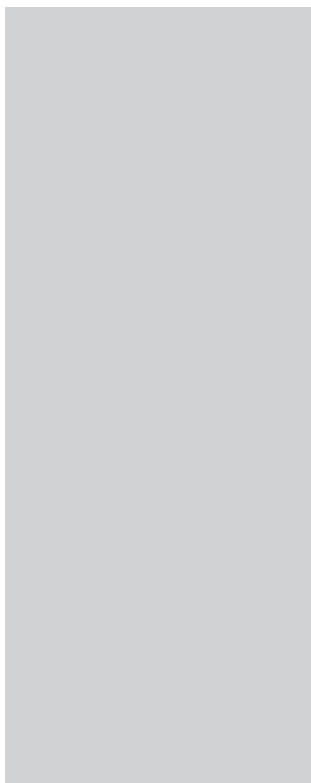
(同五・奥書)



(同五・包紙端裏)



(同六・奥書)



(同九・その二・四枚目)

(同九・その二・二十四枚目裏)

(地藏菩薩像内納入品一・その二・一枚目)

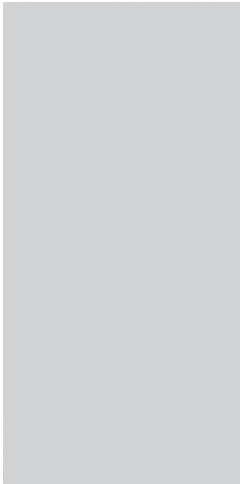
(同一・願文)



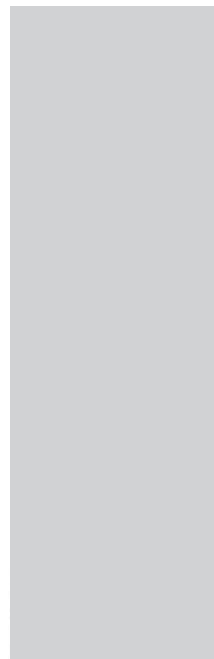
(不動明王像内納入
品一・二枚目右上)



(同一・二枚目・奥書)

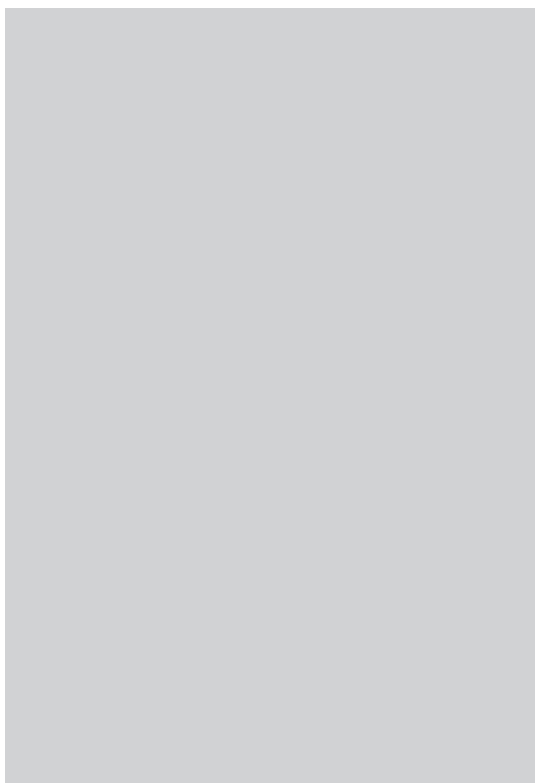
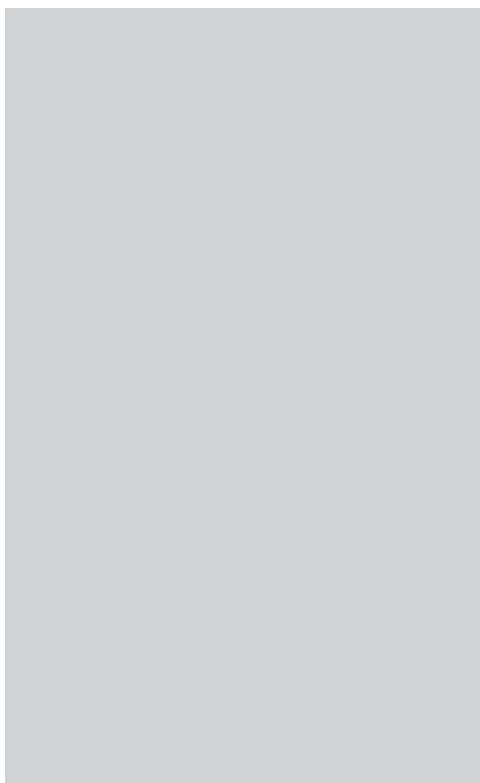


(降三世明王像内納入品一・一枚目・末第二列)

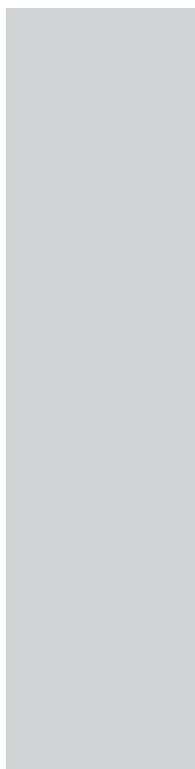


(同一・二枚目裏)

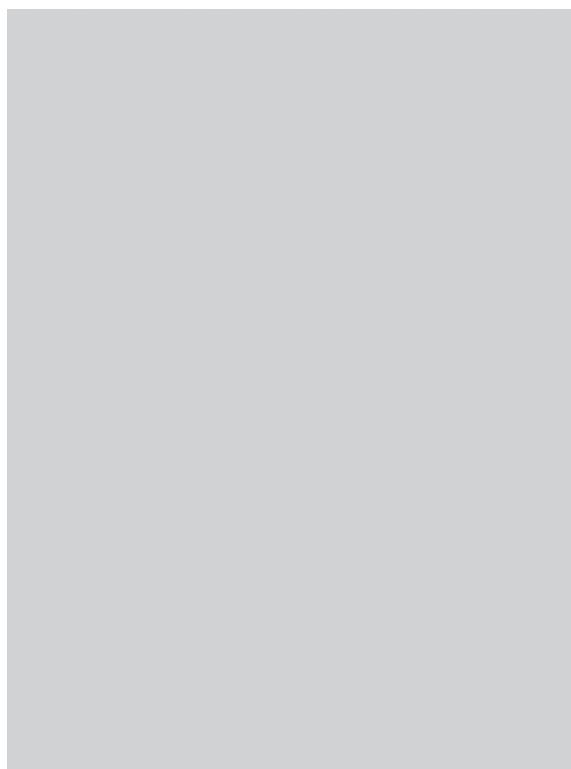




3 随神倚像 大山祇神社

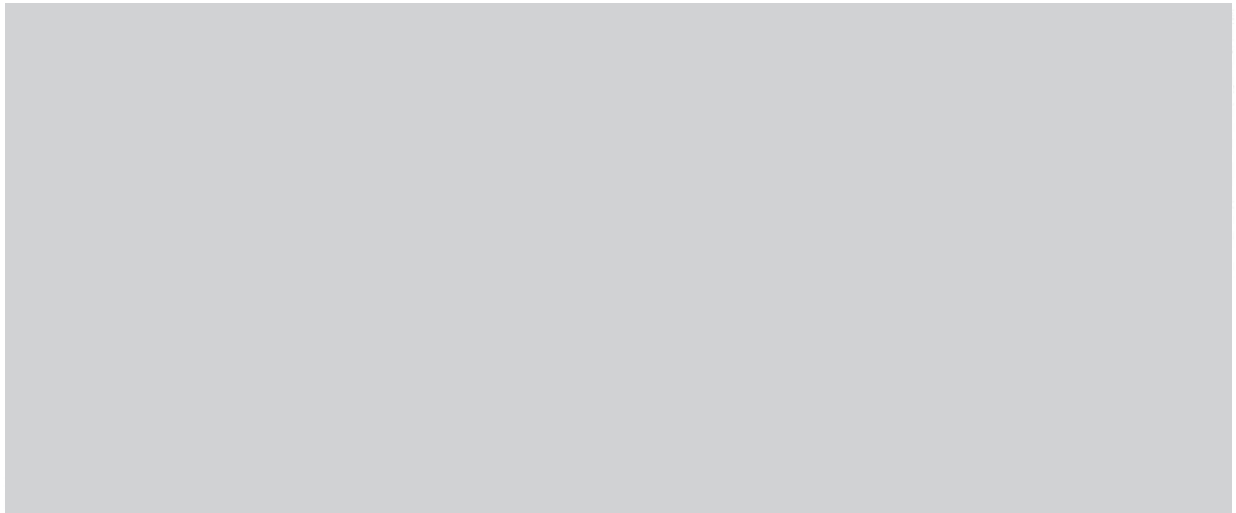


(同二・奥書)

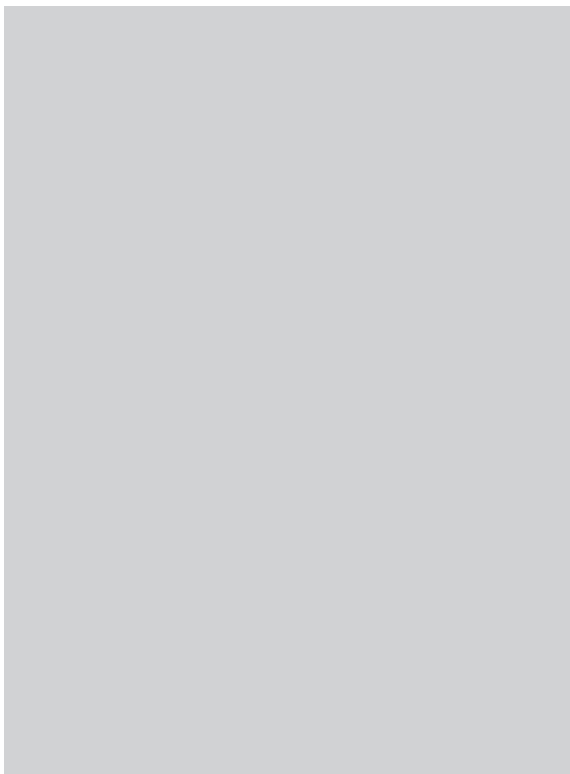


(釈迦如来像内納入品一・願文)

4 釈迦三尊像 実相寺



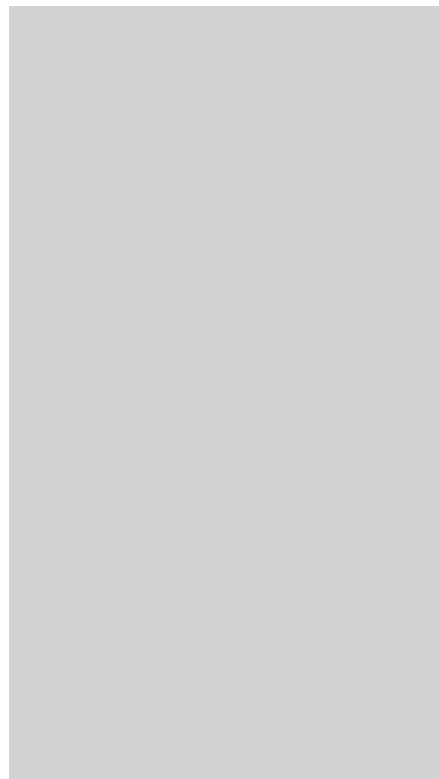
(同三・その一・願文)



(普賢菩薩像内・面部)



(同五・奥書)



(同四・願文)